

豊明市文化財保護委員会会議録

日 時：平成30年12月14日（金）午前9時30分～12時00分

場 所：豊明市役所本庁舎 東館3階 教育委員会室

出席者：浅井委員、成田委員、三浦委員、相場委員、佐野委員、鈴木委員、近藤委員
岡村委員、永井委員

事務局：伏屋教育長、小串教育部長、高木生涯学習課長、青木係長、岸田主査、神谷
社会教育指導員

1 委員長あいさつ

2 協議事項

(1) 豊明のナガバノイシモチソウの国指定について

事務局：趣旨説明

委 員：将来的に国指定については賛成である。自生地内の植生が変化してきているため、いつの時代を基準とするのか考えていく必要がある。

事務局：国の指定にあたっては、31年度に保全計画をつくり文化財保護委員会で諮っていく考えである。

(2) 文化財保護委員会会議録作成のあり方について

事務局：今後の文化財保護委員会会議録の作成において、各委員から出た意見を集約していくのは困難であるため、決定事項を要約して記すこととする。また、HPへの掲載についても決定事項を掲載することとする。

3 報告事項

(1) 戦人塚整備工事の立ち会いについて

事務局：10月から工事を開始し、31年3月8日に完成予定である。
次回の文化財保護委員会の開催日に合わせて立ち会いを行う。

(2) 唐竹小学校跡施設活用について

委 員：管理運営についてどうか。

事務局：

- ・市としては企画政策課の作成した方針で決定である。北館4階となった場合、展示資料の搬入・搬出等が困難であり、南館1階となった。
- ・歴史民俗資料室の管理運営方法については、31年度に市史編さん室が中心となり、文化財保護係も含めて考えていく。
- ・土器を収納するにあたり屋内の収納スペースは限られており、屋外倉庫の設置は認められている。貴重なものによって屋内と屋外に分けていく考えである。

(3) 市内鎌倉街道のルート看板設置について

事務局：市指定後の史跡整備について趣旨説明

委 員：街道道筋に散策用の推定ルート看板の設置をするにあたり、現在は区画整理が行われて原型を留めていない状態となっているため、経

路を確定し難い。よって、チラシを作成した後に二村山山頂あたりにポストを設置するに留めた方がよい。なお、二村山景勝地として山頂の切られ地蔵尊あたりからの展望を良くし、写真資料をもとに当時の面影を残せるように周辺樹木の伐採をするとよい。

(4) 市内歴史的建造物3件の登録について

事務局：10月1日に要綱が施行されたことに伴い、これまで協議がされてきた対象3件の登録申請について事務局から所有者に確認を行っている。現在、回答を待っている状況である。

4 その他

(1) 事業報告等について

事務局：資料に基づき説明。

(2) 一之御前安産水の整備計画について

事務局：試掘調査を行い、水が出た場合に工事を行う。要綱の作成により、工事費の中に試掘費用を含めて市が一部負担することとなる。現在、31年度の予算要求に上げている。

(3) 埋蔵文化財試掘調査（鶴根中世1号窯遺跡）の立ち会いについて

- ・文化財保護委員（永井委員、三浦委員、相場委員、佐野委員、近藤委員、岡村委員）立ち会いのもと試掘調査を3箇所実施。異物、遺構の痕跡なし。

次回文化財保護委員会 平成31年3月14日（木）13時30分から
市役所分庁舎 会議室2